

しかし、コロナ禍真っ只中、当初予定していた活動はできず、部員3名を抱えたまま時間だけが過ぎました。その中で、たまたま見つけた中学生向けのプレゼンテーションコンテストに参加したところ、入賞することができました。

これにより校内での知名度が上がり部員が集まりました。そしてコンテストに向けたテーマ探しの中で、子ども食堂の活動に出会いました。

3. 子ども食堂と地域交流活動について



一般社団法人子ども食堂ネットワークと連携を取り、2022年12月に“西大宮子ども食堂SAKAE”を立ち上げ、現在まで5度の実施をしてまいりました。そして、その活動の拡大版として、地域の企業や行政を巻き込んだハロウィンのイベントを企画し、100家庭、300名と13の企業の協力のもと大盛況となりました。テレビ埼玉にも活動を取り上げていただきました。



今後の取り組みについて
ローカルとグローバルの二軸で活動を広げていきたいと考えています。



・まず、ローカルの活動について、今ある活動を充実させるために高校生による防災教室の実施を考えています。日本に住む以上防災について考え続けなくてはなりません。高校生を地域の防災のリーダーに据えて防災についての考えを地域で共有することが地域の防災力を高めます。そのために防災士と食育防災アドバイザーという資格の取得を進めていきたいと思ひます。

・もう一つのグローバルについて、こちらはまず本庄市にある放置された竹林の再利用のプロジェクトに早稲田大学のボランティアサークルとともに取り組んでいきます。その中で、竹炭による土壌改良に注目しております。この技術をもってカンボジアなどの途上国の支援に取り組みたいと考えております。

大きな目標に向かって総合探究部は今後も活動して参ります。同じ社会奉仕を掲げる団体として、手と手を取り合って進んでいけたらと思ひます。今後どうぞよろしくお願ひします。

ご清聴ありがとうございました。

